

子どもにもっとスポーツを
—必要とされる教育機関・地方自治体の取り組み—

早稲田大学 武藤ゼミA

○太田 英信 浅野 晃 臼井 由佳 片山 幸太
久保田 寛隆 高橋 淳 谷口 友章

(1) 目的

近年、子どものスポーツ離れ・運動能力の低下が進んでいるという言葉をよく耳にする。私たちがそのことを当然のように考えてきた。本研究は子ども(小学生)のスポーツ離れ・運動能力の低下を、データをもとに分析・検証し、その結果から問題に対する効果的なアプローチの仕方を政策として提言することである。

(2) 方法

文部科学省の先行研究調査、笹川スポーツ財団等のデータをお借りしてのデータ分析ならびに文献調査

(3) 結果・考察

子どものスポーツ離れ子どもの運動能力の低下は事実といってよい。しかしこれは全体が低下しているわけではなく、運動頻度の低い層の増加が結果として運動能力の低下の要因となっていると言える。また、子どもをとりまく環境について調査し、運動頻度の低下には学習塾に通う子どもの増加や、少子化の影響により遊ぶ仲間が減少していることが1つ大きな要因として考えられる。

よって子どもがよりスポーツを実施するために必要なことは、直接的な子どもへの運動実施への意欲向上をはかるアプローチだけでなく、体育以外での運動機会の創出、運動しやすい環境を作り出すことが必要となるのではないだろうか。そのためには教育機関・地方公共団体の、より子どものスポーツ実施に対する積極的な取り組みが重要となってくる。

(4) 政策提言

主に教育機関、地方公共団体が取り組むべき政策を提言する。

○教育機関

【中学校の入学試験における体育含む実技科目の導入】

現在既に行われている国立大学附属中学校の入学試験に加え、公立・私立・市立中学校の入学試験科目として体育を含む実技科目を導入する。これによって社会適応能力をはかる。この政策によって小学校、保護者、子どもの体育(運動)に対する意識の底上げをはかることが可能である。

【小学校での“ほうかごところ”の設置】

“ほうかごところ”とは現在、所沢市が国の「放課後子どもプラン」に基づき行っている放課後支援事業である。その目的は子どもを預かることではなく、安全・安心な居

場所を確保すること、遊びや学びをとおして異年齢の子どもたちとの交流を促進すること等、地域住民による子どもたちの健全育成を図ることとされている。

これを導入することで、放課後に学校という子どもにとって 1 番身近な運動することのできる場所を提供する。子どもにとって放課後の学校は遊び仲間の確保・距離・安全性といった面で最適の運動場所である。また、この政策は保護者に対して子どもの居場所を把握できるという点で安心感を与えることができる。人員、施設環境、経費といった面でも地域差などがあまり関係しないため、全国の幅広い小学校で行うことが可能な政策であると考えられる。

【授業時間外用の運動プログラム作成】

各小学校が学内の運動施設・用品の状況などを考量し、休み時間など授業時間以外での運動に関するプログラムを作成。手近にできる目標を設定することにより、場行時間以外での子どもの運動意欲の向上をはかる。

【小学校での朝礼時間における運動機会の創出】

朝礼の時間での体操や、上記の運動プログラムと連動して運動プログラムの練習、担任による達成状況の確認を行う。これにより子どもの運動する機会をやや強制的ではあるが設ける。

○地方公共団体

【定期的な地域、地区での運動会(スポーツイベント)の開催】

競技内容はスポーツとは限らず 30 人 31 三脚、大縄など団体としての団結力を要求するものを中心とする。学校の体育の授業と連携して練習する時間をもうける。

運動会の運営なども子供たちに行わせ、保護者、教師、地域住民でフォローしてあげることで子供たちの運動会への自主性、意欲を高め、運動能力以外での成長も望むことができる。

【地方公共団体ならびに教育機関でのスポーツに関する取り組みの効果測定】

文部科学省の調査によれば、教育機関などで子どもの運動意欲向上のためのアプローチをしているところは数多く存在する。しかし、その具体的な効果測定、そして効果測定からの新しいアプローチが実施されていない。この役割を地方公共団体で行うことによって、より細かで有効なアプローチが可能となる。

(5) 参考文献

子どもの体力向上ホームページ <http://www.recreation.or.jp/kodomo/index.html>

笹川スポーツ財団著 子どものスポーツライフ・データ

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>

所沢市ホームページ <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/index.html>

文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/05_c.htm